



令和5年度 上北山やまゆり学園グランドデザイン

学校教育の目標

- 心豊かで、自ら進んで学習し、行動する児童生徒の育成
～ささえあい、学びあい、生き生き活動する北山っ子～



校訓 めざす15歳像

自立・克己・向上



研究主題

協働的な学びを通して、
自ら考える力を高め、主体性を育む



めざす児童生徒像

- 《知》 かんがえる子
- 《徳》 みんなを思う子
- 《体》 きたえる子

特色ある教育活動

- ア 下北山村との教育連携（スポーツ交流、学習交流会、遠隔授業）
- イ 国際科（コミュニケーション中心の英語、ふるさと学習）
- ウ ICT活用（学校間遠隔授業、オンライン授業、家庭学習）
- エ 全教科担任制（5年～）
- オ 海浜学習（三重県三木里海岸）
- カ 剣道教室・クラブ活動（ゲストティーチャー人材活用）

園・学校教育の重点とプログラム

授業力を高める

○学ぶ楽しさ、学ぶ意欲

★ 「わかる授業」を創造するための、教師の授業力向上を目指すシステムを構築するとともに、一人一人の子どもの確かな学力や多様な能力を伸ばす「個別最適な学び」を推進する。

- ア 学力・体力調査結果の活用
- イ 学習評価方法の改善
- ウ 学習シラバスや個人カルテの活用
- エ 授業公開の推進
- オ 各種検定へのチャレンジ

教師力を高める

○教職員の指導力アップ

★ 指導力向上のための研修に努め、自信と誇りに満ちた教職員を目指す。

- ア 子どもの目線に立った人権教育の構築
- イ 地域住民との関わりによる人間力の向上
- ウ 少人数の特性を活かした教育の推進
- エ ICT機器の特性を活かした教育の推進

連携力を高める

○個に応じた教育展開推進

★ 心身の発達の連続性を重視し、「基礎期（ステップけやき）・充実期（ステップほととぎす）・発展期（ステップやまゆり）」間における指導法研究と具体的システムを構築する。

- ア 前期・後期課程教員の積極的な交流
- イ 具体的な教育活動の積極的交流
- ウ 子ども一人一人の発達段階を意識した教育の展開

学校力を高める

○楽しく安全な学校生活

★ 魅力ある教育活動を展開し、「心の居場所」「心のふるさと」として機能させる。また、常に子どもの安全を守る心構えと危機対応に備える。

- ア 「顔」の見える学校づくり
- イ 「心の居場所」「心のふるさと」づくりの推進
- ウ 危機対応マニュアル再点検
- エ 「PDCA」サイクルの機能化

地域力を活用する

○地域力の発掘と活用推進

★ 学校・園・家庭・地域が子育て責任共有の意識で協働する。また、「ふるさと学習」の教材作成を推進する。

- ア 学校運営協議会を核として学校の活性化を図る
- イ 地域と園・学校の連携強化
- ウ 園・学校と放課後活動との連携システム化を図る

人間力を高める

○個に応じた教育展開推進

★ 子どもを「上北山村の宝」と捉え「次代の担い手」を育てる観点を明確にした地域ぐるみによる教育を推進する。

- ア 生き方を追求する教育推進
- イ 心身ともに健康的で活力ある生活の主體的獲得（すこやか推進委員会）
- ウ 現代課題に直視した（保育）・学校・学級懇談会の開催